

■震災復興メモリアル等検討委員会のMission

1 仙台市震災復興計画「100万人の復興プロジェクト」

5 「美しい海辺を復元する」
海辺の交流再生プロジェクト

- ① シンボルとなる海岸防災林の復元
- ② 貞山運河の復元

10 「震災の記憶を後世に伝える」
震災メモリアルプロジェクト

- ① 震災の記録の集積と活用
- ② アーカイブ、情報発信の拠点整備
- ③ 東部沿岸地区へのモニュメント整備
- ④ 震災の記憶・復興の姿を広く発信、子どもたちをはじめとする幅広い市民との協働による推進

2 震災発生後の様々な動きや取り組み

- ・各被災地における震災遺構の保存に向けた取り組み
例：メモリアル公園（女川町）、高田松原の一本松（陸前高田市）
- ・国や民間企業等によるアーカイブの発信
例：みちのく震録伝（東北大学）
3.11キラクのキログ（20世紀アーカイブ仙台）
- ・文化・芸術・スポーツなどによる復興に向けた活動
例：大震災復興支援プロジェクト（MMIX LAB）
Re:プロジェクト（市民文化事業団）
復興提言シンポジウム（音楽の力による復興センター・東北）
宮城・東北Dream Project（ベガルタ仙台）

「震災の記憶」

「震災前の暮らしや人々の記憶」

「復興に立ち向かう思い」

を留めるための取り組みが必要

3 震災復興メモリアル検討にあたっての視点

- ・市民が復興の道のりを共に歩むためのシンボルづくり
- ・震災の教訓を踏まえた「新たな仙台」の発信

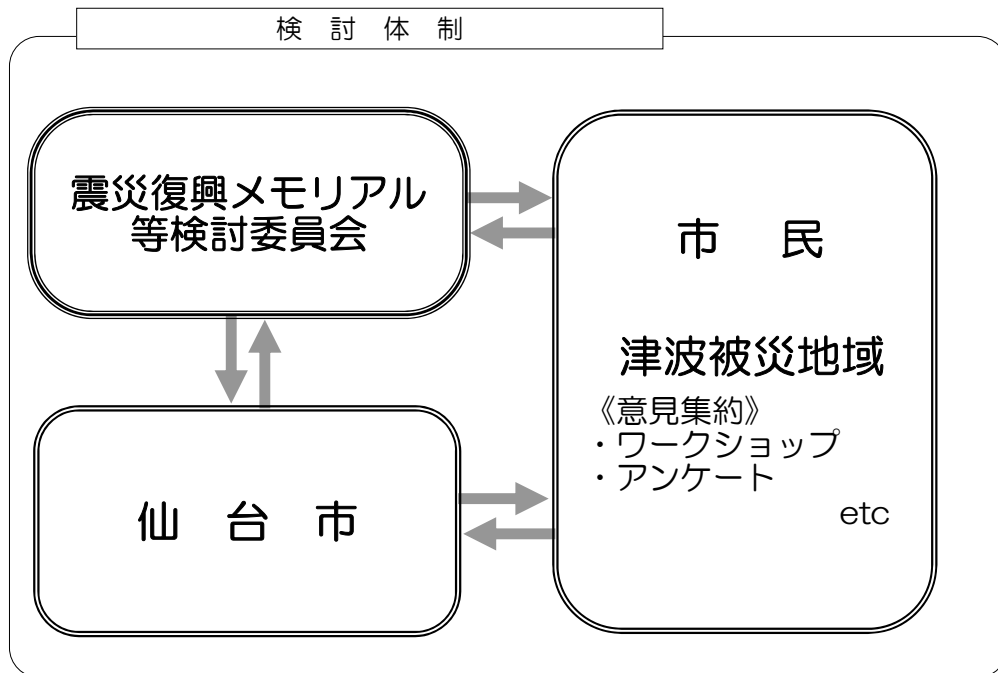
◆検討委員会のMission

復興計画に基づきプロジェクトを市民の皆様と共に推進していくための気運醸成と、各テーマ実現に向けた具体化、深化

◆主な検討テーマ

プロジェクト		
5①シンボルとなる海岸防災林の復元	1 復興のシンボルとなる東部地域の緑の復元	・東部地域における緑の復元を震災復興のシンボル ・市民参加による植樹行動・苗木の受け入れなどの仕組みづくり
5②貞山運河の復元	2 歴史的建造物としての貞山運河の再整備と活用	・貞山運河を活かし、市民が再び自然と触れ合うことができる魅力的な交流の場づくりのあり方
10①震災の記録の集積と活用	3 写真、デジタルコンテンツ、図書等の情報アーカイブの発信手法・拠点整備	・震災の記憶と復興を後世に継承するためのアーカイブの発信手法と教育現場などでの利活用方針と拠点整備のあり方
10②アーカイブ、情報発信の拠点整備		
10③東部沿岸地区へのモニュメント整備	4 荒浜集落・小学校の遺構保存や中野・藤塚地区のモニュメント整備のあり方	・震災の犠牲者に対する鎮魂と、暮らしや人々の記憶の継承・風化を防ぐモニュメント整備のあり方 ・震災遺構の保存・利活用方針
10④市民協働による記憶・復興の発信	5 震災の記憶・復興の姿を広く発信、子どもたちをはじめとする幅広い市民との協働による推進	

☆ 復興計画のプロジェクトを具体化するため在仙の有識者等を委員とする検討委員会を設置



市議会の議論や地域意見を踏まえ事業を具体化